

---

# 大学教育学会ニュースレター

No.95 2014. 2. 5

---

大学教育学会 (Liberal and General Education Society of Japan)

事務局 : 桜美林大学淵野辺キャンパス内

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺 4-16-1

TEL/ FAX : (042)704-7014

郵便振替口座:00120-4-178891 大学教育学会

e-mail: [ungakkai@gmail.com](mailto:ungakkai@gmail.com) URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

---

## 大学教育学会 第36回(2014年)案内

統一テーマ

### 「研究と実践の往還から創出する知識」

趣 旨

高等教育進学率が向上する中で、学生の学力や学習意欲の多様化が指摘されている。また、国際化が政策的に促進され留学生が増加する中で、学生間の多様性も進んでいる。以前には想定されていなかった若者を大学は受け入れており、今後もそれが続く限り、学生の多様化傾向はさらに強まることが予想される。

こうした事態に対処するためには、教育活動の質を高めることが不可避の課題である。教育活動の改善につながる知識をいかに創出すべきか—有力な手段の一つは、いうまでもなく研究である。ただし、自己目的化した研究ではない。学術的に高い質を保つと同時に、教育改善のための諸活動に活用できる具体的で実践的な内容をもつ研究、いわば、実践との間に緊張関係をもつ研究である。

学術的に確立された手法に基づく研究だけでなく、数々の実践の中からも創出される知識もある。実践から創出された知識は、学術的な手法を経て有効性が検証されることが求められる。また、学術的な有効性にとどまらず、実践の中で改めて有効性が検証され、さらに内容を深めていくことも、大学教育の改善を進める立場からは重要であろう。

研究と実践の往還を通じて、知識を創出すること、有効性を検証すること、大学教育改善に携わる多様なアクターによって共有されることが必要なのである。大学教育の改善を志向する研究のあり方を常に追求してきた本学会にとって、このような知識の創出・検証・共有は活動の原点と言えるのではないだろうか。近年、大学教育を取り巻く環境が複雑かつ困難になっていることにかんがみて、本大会では知識の創出・検証・共有をいかに進めるかについて、いま一度検討してみたい。

#### 1. 開催期日および会場

期 日 2014 (平成26) 年5月31日 [土]、6月1日 [日]

会 場 名古屋大学東山キャンパス (名古屋市千種区不老町: 地下鉄名城線・名古屋大学駅下車)

全学教育棟: 受付、ラウンドテーブル、自由研究発表

豊田講堂 : 基調講演、総会、公開シンポジウム、情報交換会

## 2. 大会日程

### 第1日：5月31日 [土]

9:00	10:00	12:00	13:00	13:50	14:10	15:30	15:45	18:00	18:15	20:00
受付	↑ 9:30-9:50 オリエンテーション	ラウンド テーブル	昼食	総会		基調講演		公開シンポジウム		情報交換会

9:00	受付開始
9:30 - 9:50	初めて参加する人のためのオリエンテーション
10:00 - 12:00	ラウンドテーブル
12:00 - 13:00	昼食
13:00 - 13:50	総会
13:50 - 14:10	休憩
14:10 - 15:30	基調講演 亀山郁夫氏 (名古屋外国語大学・学長) 講演題目「現代社会を生きるための教養と大学教育」
15:30 - 15:45	休憩
15:45 - 18:00	公開シンポジウム テーマ「大学教育改革につながる実践的知識の共有」
18:15 - 20:00	情報交換会

### 第2日：6月1日 [日]

9:00	9:30	12:00	13:00	15:00
受付	自由研究発表 I	昼食	自由研究発表 II	

9:00	受付開始
9:30 - 12:00	自由研究発表 I
12:00 - 13:00	昼食
13:00 - 15:00	自由研究発表 II

### 関連行事：5月30日 [金]

16:00-18:00 理事会 (名古屋大学東山キャンパス 文系総合館 7階カンファレンスホール)

## 3. 基調講演

講師：亀山 郁夫 氏 (名古屋外国語大学・学長)

演題：現代社会を生きるための教養と大学教育

司会：小笠原 正明 (学会長)

亀山郁夫氏は、ロシア文学を専攻され、ドストエフスキー研究・翻訳等の業績で著名な方です。同時に、前任校の東京外国語大学では学長として、同大学の教育改革に努められました。現在は、名古屋外国語大学の学長として、「批判的思考」と「共感力」を育てる教養教育の実現に向けて尽力されています。

この講演では、大学の学長として教育改革を推進してきた経験をふまえて、今後の大学教育のあり方について語っていただきます。とくに、社会が大きく変動する中で、明日の社会を担う若者たちに求められる教養とはいかなるものなのか、それを育む大学教育のあり方とはいかなるものかについて、お話しいただく予定です。

## 4. シンポジウム「大学教育改革につながる実践的知識の共有」

現在、多くの大学で教育改革・改善が進められています。それぞれの大学は、置かれた条件をふまえて、適切な内容と方法を考案し、試行錯誤を繰り返しています。

その過程で形成される知識・スキルは、きわめて実践的なものであり、教育改革・改善を継続的に実施する上で重要なものです。それが大学で一定の有効性をもつものであれば、多くの大学がそれを共有することは、教育改革・改善を普及させるうえで必要です。そのために、知識・スキルを言語化することは、その有効性を検証し内容を高度化するとともに、より多くの大学関係者が活用できるようにするうえで不可欠の課題といえます。

しかし、その知識・スキルは、実践的であるがゆえに、学術的には重視されることは少なく、むしろ軽視され、学術研究の対象とされることも従来は少なかったように思われます。本シンポジウムでは、大学教育の改善につながる実践的知識の内容やその形成・活用方法について検討します。

趣旨説明・司会

夏目 達也 (名古屋大学)

報告 1 FD・SD 教材作成の立場から

中井 俊樹 (名古屋大学)

報告 2 障がいのある学生の支援の立場から

青野 透 (金沢大学)

報告 3 アカデミック・ライティング教育の立場から

佐渡島 沙織 (早稲田大学)

## 5. 「ラウンドテーブル」申し込みについて

本学会は、多様な専門分野の方々が集まって大学教育に焦点をあててその充実を図ることを大きな目標の一つに掲げています。その一環として行う「ラウンドテーブル」は、会員による研究・実践活動の活性化を促すとともに、学会全体で共有できる研究課題を発掘し、複数の視点から議論を深めていくことを目的としています。

この趣旨に基づき、ラウンドテーブルの企画に当たっては、本学会個人会員が企画者、発表者（話題提供者・発題者）、司会者を務めることとし、特に企画者は複数の所属機関にわたる複数名で構成するようにご配慮ください（ただし、企画者が報告者や司会者を兼ねることは可能です）。

### 申し込みおよび報告：

申し込みの要領・手順については、ニュースレター後掲「自由研究およびラウンドテーブルの申し込みについて」をご参照下さい。

ラウンドテーブルの企画者には、事後、大学教育学会誌にご報告いただきます。

### ラウンドテーブルの調整及び評価：

ラウンドテーブル全体の調整及び評価は企画・実行委員会が行います。

第一に、企画・実行委員会において、企画者、発表者、司会者として会員資格を満たしているかを確認いたします。なお、同じ会員が複数の企画に、企画者、報告者、司会者として名を連ねることはできませんのでご注意ください。

第二に、企画・実行委員会が、以下の項目を中心にテーマの適切性や重複状況を総合的に評価いたします。また、会場の都合を踏まえ、ラウンドテーブルの数を制限することがあります。

- (1) 1 テーブルの構成員（企画者・報告者・司会者）の数（最大10名まで）
- (2) 発表者の所属機関の多様性
- (3) 見込まれる参加者数
- (4) 成果の発表状況（論文、シンポジウムでの報告、出版等）

以上の評価結果は、申し込み年度の3月中旬までに企画者に通知いたします。

※課題研究委員会が企画するラウンドテーブルについては、非会員であっても報告者（話題提供者・発題者）になることができます。

## 6. 「自由研究」申し込みについて

### 発表資格

- (1) 発表申し込み及び登壇する資格を有するのは本学会個人会員（学生会員を含む）に限ります。ただし、共同研究者として非会員をプログラム、要旨集、当日の投影資料、配付資料に記載することができます。
- (2) 非会員を共同研究者とした際は、プログラム、要旨集、当日の投影資料、配付資料に、必ず「非会員」であることを明記してください。
- (3) 「個人会員(学生会員を含む)」とは、①発表申し込みの締切日以前に、締切日を含む年度までの会費を全納した者、あるいは、②発表申し込み締切日までに、入会手続きを取り、当該締切日を含む年度の会費を前納した者を指します（後述の「申し込みに関する留意事項」を参照）。
- (4) 団体会員は、大会期間中1団体会員あたり1題に限って発表することができます。その際、当該団体会員は、登壇者を指名します（複数可。非会員可）。
- (5) 企画委員会は発表資格を満たしているか判断し、申し込み年度の3月末までに発表申込者に通知します。

### 発表内容

- (1) 大学教育に関する未発表の研究で、単なる実践報告でなく、一定程度の成果の評価や結論が示されていることが求められます。
- (2) 最低限、大学教育学会誌における関連先行研究のレビューをふまえたものであることが求められます。
- (3) 共同研究の成果発表において、2つ以上の発表時間枠の利用を希望する場合は、発表題目の副題に内容を必ず明示すること。主題および副題に連番を付すことは認めません。
- (4) 発表題目は、研究の内容と目的を明示するものであり、申し込み・要旨集録・当日発表のいずれも同じでなければなりません。

### 発表数の限定

個人会員（学生会員含む）および団体会員が登壇者に指名する個人（複数可。非会員可。）は、大会期間中1名1題に限り登壇者となることができます。ただし共同研究者として他の発表に名を連ねることはこの限りではありません。

### 発表時間・会場

- (1) 発表15分と質疑応答5分の計20分です。
- (2) 申し込みの題名と要旨を参考に、実行委員会が会場分けを行います。
- (3) 会場ごとに全発表の終了後に「総合討論」の時間を設けます。発表者は必ずご参加下さい。

### エントリーに関する留意事項

- (1) 団体会員の資格で発表する場合は、団体名での発表になります。電子申請の際の発表申し込みの画面で必ず機関名をご記入下さい。
- (2) 発表エントリー後に理由不明なまま途中辞退を行った場合、今後発表を認めないことがあります。

## 7. 大会企画・実行委員会

委員長	夏目 達也（名古屋大学）	実行委員	池田 輝政（名城大学）
事務局長	近田 政博（名古屋大学）		久保田 祐歌（愛知教育大学）
事務局次長	中井 俊樹（名古屋大学）		黒田 光太郎（名城大学）
事務局員	東 望歩（名古屋大学）		中島 英博（名城大学）
企画委員	大塚 雄作（京都大学）		安田 淳一郎（岐阜大学）
	山田 礼子（同志社大学）		渡辺 達雄（金沢大学）

## 自由研究およびラウンドテーブルの発表申し込みについて

### 発表申し込み要領

申し込み締め切り：2014年2月28日（金）

学会ウェブサイトの「会員ページ」からお申し込みください（下記の申し込み手順を参照）。

### 発表申し込み手順

- 1) 大学教育学会ウェブサイト (<http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>) にアクセスします。
- 2) 会員ページ入口でIDとパスワードを入力し、ログイン後、「大会発表の応募」に進みます。  
※パスワードをお忘れになった方は、学会事務局（メールアドレス：ungakkai@gmail.com）にお問い合わせ下さい。
- 3) 「大会発表の応募」にログインすると、申込者の会員番号、氏名、氏名フリガナ、メールアドレスが表示されます。ご確認ください。
- 4) 「発表の種別」で、「自由研究」または「ラウンドテーブル」を選択して下さい。
- 5) 「自由研究」「ラウンドテーブル」ともに、登録内容は以下の通りです。
  - ①発表題目をご記入下さい。（※）
  - ②発表内容の概要は日本語で300字程度、または英字（半角）120語程度でご記入下さい。
  - ③「自由研究」については、「大会発表の応募」のカテゴリー選択ボックスから1つだけ選択して下さい。
- 6) 「自由研究」「ラウンドテーブル」ともに発表の可否が決定されますと、「可否通知メール」が申込者宛に送信されます。「可否通知メール」で発表を許可された場合は、会員ページの「お知らせ」欄に表示される要旨原稿の提出案内に従い、要旨原稿を4月10日（木）までにアップロードして下さい。  
ラウンドテーブルの企画者は、発表者の氏名、氏名フリガナ、所属についても要旨集録原稿に掲載して下さい（※ラウンドテーブル・自由研究いずれも申し込んだ発表題目は変更できません）。

### 【重要】発表申し込みに関する留意事項

- 1) 発表申し込みの際は、学会ウェブサイト上にある「大学教育学会大会実施要綱」を必ず確認してください。
- 2) 現会員が発表申し込みをする場合は、2013年度分までの会費を2014年2月21日までに完納する必要があります。
- 3) 新たに本学会に入会し、第36回大会にて自由研究発表及びラウンドテーブルでの企画・発表を希望する方は、必ず2014年2月14日までに入会手続きを済ませ、2013年度分会費を2014年2月21日までに納入してください。
- 4) 指定期日までに会費を納入されない場合には、申し込みを受理いたしません。
- 5) 会費納入は、郵便払込票にて「00120-4-178891 大学教育学会」までお願いします。
- 6) 会費納入状況の問い合わせ先  
大学教育学会 学会業務取扱センター  
TEL：03-5907-3750 / FAX：03-5907-6364  
E-mail：g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp

### 【重要】お願い

会費納入状況に基づく発表および企画の資格を確認するため、会員番号の記載を義務付けております。学会名簿をご参照のうえ、ご記載願います。

なお会員番号が不明な場合は、学会事務局 Tel:(042)704-7014 / E-mail:ungakkai@gmail.com までお問い合わせ下さい。（開室時間：月・水・金曜日 9:00～17:00）

## 大会案内サイトについて

本学会ウェブサイトの「最新情報欄」に「大学教育学会第36回大会のご案内」を掲載いたしました。ここから「大学教育学会第36回大会（名古屋大学）」のページにアクセスできます。

**大学教育学会URL** <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

発表申込みに関してのお問合せ先は、下記のとおりです。

### 第36回大会に関するお問い合わせ

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学高等教育研究センター 気付  
大学教育学会 第36回大会企画実行委員会

e-mail: [gakkai36@cshe.nagoya-u.ac.jp](mailto:gakkai36@cshe.nagoya-u.ac.jp)

※メールの件名には、「自由研究」「ラウンドテーブル」または「大会発表に関する問い合わせ」とご記入ください。

## ＝事務局から＝

### ●【重要】会費納入のお願い

今年度(2013年度)の会費が未納の会員及び過年度の会費・会誌代が未納の会員は、速やかにご入金ください。領収書につきましては、郵便払込票の受領書をもって替えさせていただきます。

年会費等郵便振替口座 00120-4-178891 「大学教育学会」

ご入金には郵便払込票をご利用ください。やむを得ず、銀行からご入金を希望される場合は、入金前に必ず、以下の大学教育学会 学会業務取扱センターまでその旨ご連絡下さい。

<「入退会・会員登録情報変更・会費納入状況」の問い合わせ先>

大学教育学会 学会業務取扱センター

〒170-0004 東京都豊島区北大塚3-21-10アーバン大塚3F (株)ガリレオ内

TEL:03-5907-3750 FAX:03-5907-6364

E-mail:g022lges-mng@mlgakkai.ne.jp

今年度より、過年度会費の滞納がある場合は、学会誌の発送を見送らせていただいています。入金状況は、学会ウェブサイトの会員ページ「会員情報の照会・更新」からご自身で確認可能です。

### ● 会員名簿の刊行について

2014年1月31日現在の会員情報を元に会員名簿の刊行を行ない、今回お手元にお届けしています。会員情報の更新手続きがなされていない会員の場合は、所属機関以外を全て非公開としています。

### ● 新課題研究募集のお知らせ【課題研究候補選定委員会】

2014年度の新課題研究を募集中です。詳細は本学会ウェブサイトをご確認ください。

<締切日：2014年2月21日（金）>

### ● 学会関連資料のご寄贈のお願い【アーカイブズ委員会】

特に探究している資料は、以下の通りです。学会事務局まで「着払い」でお送りください。

大会発表要旨集録等（1979,1981,1989,1990,1993,1998,2000,2001,2002,2003,2004,2010年）

課題研究集会要旨集（1981,1982,1985,1986,1987,1988,1989,1992,1993,1998,2001,2003,2004,2005,2008年）

その他、一般教育学会時代の資料もご寄贈をお待ちしています。

### ●【ご注意】団体会員、会誌配布団体の会員番号(ID)について

すでにご案内しております通り、団体会員、会誌配布団体の会員番号を2012年4月より変更しております。これらの会員の皆様にはご不便をおかけいたしますが、なにとぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

<会員番号>

以前の会員番号、千の位の数字と百の位の数字の間に「0(ゼロ)」を入れた5ケタの番号です。

例：団体会員：(旧)3111→(現)30111 会誌配布団体：(旧)5011→(現)50011

### ● 住所変更の届出についてのお願い

定期刊行物は、宅配業者のメール便を利用しているため、転居にともなう転送はされず数週間後事務局へ返送されます。変更が生じた場合は、ウェブサイト上の会員ページより会員登録情報の変更をお願いします。

### ● メールマガジンの受信設定のお願い

現在、会員の皆様に年2～3回、大学教育学会メール通信(メールマガジン)を配信しています。ご登録のアドレスにおいて学会アドレスungakkai@gmail.comより送信されましたメールを受信できるよう設定をお願いします。

## ●【重要】大学教育学会第36回(2014年度)大会時の発表申し込みについて

2014年度第36回大会は、5月31日(土)・6月1日(日)に名古屋大学にて開催予定です。

本ニュースレター(No.95)にて大会での発表申し込みについてご案内しています。詳細をよくお読みになり本学会ウェブサイトよりお申し込みをお願いします。

＜締切日時 2014年2月28日(金) 23:59＞

締切時間間際のお申し込みはアクセス集中により、正常にお申し込みが完了されないことがございます。お時間に余裕を持ってお申し込みをしていただきますようお願いいたします。また、いかなる場合も締切時間を過ぎた場合のお申し込みは受理いたしませんのでご承知おきください。

2014年度大会時の発表申し込みは、2013年度分までの会費が完納されていることが条件となります。会費納入手続きは、2月21日迄【締切厳守】にお済ませいただいた上でお申し込みください。会費が完納されていない場合の申し込みは受理いたしませんのでご承知おきください。

現在非会員の方で、2014年度第36回大会において発表をご希望の方は、必ず2月14日迄に入会申し込みを済ませ、理事会での承認を得た後に、2013年度(会期：2013年4月1日～2014年3月31日)会費を2月21日迄にお納めいただく必要があります。

## ● 大学教育学会第36回(2014年度)大会参加の申し込み及び参加費等の払込について

次号のニュースレター(No.96、4月上旬発行予定)にて参加申し込みおよび参加費・情報交換会費等の払込について詳細をご案内します。払込取扱票についても同封予定です。

## ● 2014年度課題研究集会について

2014年度課題研究集会は、2014年11月29日(土)～11月30日(日)神奈川工科大学(神奈川県厚木市)にて開催予定です。



---

### 【学会事務局】

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺 4-16-1

桜美林大学 淵野辺キャンパス 3階

Tel/ Fax: 042-704-7014

E-mail: ungakkai@gmail.com

URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

### 【入退会・会員登録情報変更・会費納入状況についてのお問い合わせ先】

大学教育学会 学会業務取扱センター

〒170-0004 東京都豊島区北大塚3-21-10アーバン大塚3F (株)ガリレオ内

TEL: 03-5907-3750 / FAX: 03-5907-6364

E-mail: [g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp](mailto:g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp)